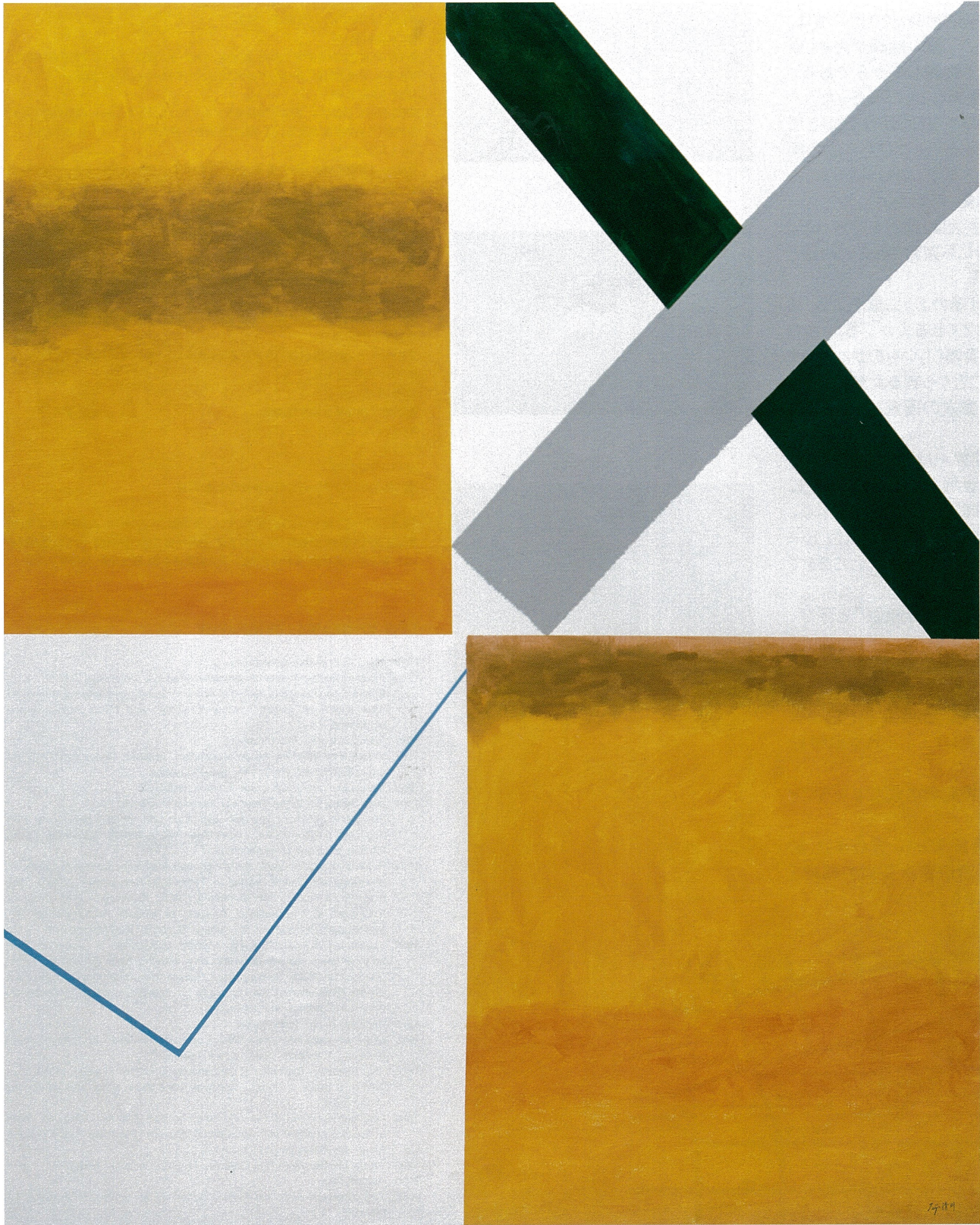


清川泰次 芸術の軌跡

語りかける色と線

TAIJI KIYOKAWA



Painting No.593 1993年

2004 4/2^{FRI.}金 → 7/25^{SUN.}日

開館時間 ● 午前10時 → 午後6時 (入館は5時30分まで)
休館日 ● 毎週月曜日 (この日が休日にあたるときはその翌日)
入場料金 ● 一般200円 / 高校・大学生150円 / 小学・中学生100円
65歳以上及び障害者の方100円
*小学・中学生は、土・日・休日、無料

成城の街
清川泰次記念ギャラリー
TAIJI KIYOKAWA Memorial Gallery

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17 tel. 03-3416-1202



清川泰次

TAIJI KIYOKAWA

芸術の軌跡

清川泰次は、絵を描き始めた20代の頃は、具象画を制作していた。彼の絵画が大きく変化したのは、32歳で渡米してからである。1951年、まだ、敗戦後間もない頃だった。「洋画をやるなら、日本を飛び出さなくちゃと思っていた。それと、日本をやった自由の国アメリカを見たかったんです。憧れがありましたね。」と、清川泰次は語っていた。

3年間のアメリカ生活は、清川を開放した。それは、自由で、何者にも束縛されない絵画となって現れた。

また、「アメリカでは僕のように無名でも、気に入れば月賦で買ってくれる人がいる。とらわれない感性はなんと素晴らしいものかと思いました。」と述べていたことから判るように、アメリカでの生活は、清川泰次の画家としての生き方を決定づけた。

40代で再び3年間アメリカで暮らし、やがて清川は、独自の白い世界を獲得した。60代になると、白いカンヴァスに、かすかな線が現れる。

「僕の絵はギリギリのものです。これ以上一つの点も一本の線も入らないというところまで追いつめる。」

画家は、自分の絵を“純粹絵画”と呼び、抽象画と一線を画している。

「抽象画というのも、もとは具体的な対象を抽象化したものでしょう。僕は対象を写し取らないし、テーマや意味を込めない。色と線の構成だけで新しい美を創りたい。それが純粹絵画です。」

ここに、無対象純粹芸術の成立を見ることが出来る。

本展は、初期の具象画から、近作まで、約30点の作品により、清川泰次芸術の軌跡をたどろうとするものである。



由紀子・二俣のアトリエにて 1947年



走る太陽 1959年



Painting No. SF364 1993年



●最寄りの交通機関のご案内
 小田急線「成城学園前駅」南口から徒歩3分
 バス「成城学園前駅」(成城学園前駅～渋谷駅～等々力・二子玉川駅・都立大学駅北口・千歳船橋駅・用賀駅・神代団地・下本宿・調布駅南口・千歳烏山駅)



清川泰次略歴

- 1919 (大正8)年5月
浜松市に生まれる
- 1936 (昭和11)年
浜松第一中学4年修了で慶応義塾大学予科入学。在学中、写真部で活躍。また、油彩画を始め、グループ展等に出品する。
- 1944 (昭和19)年
慶応義塾大学経済学部卒業
- 1947 (昭和22)年
二科展初入選。以後、連合美術展、グループ展等に出品し、個展を開催する。
- 1949 (昭和24)年
世田谷区成城にアトリエを新築し、移住。
- 1951 (昭和26)年
春季二科展で二科賞受賞。渡米。在米中、シカゴ・ケン画廊、ファイニング画廊で個展を開催する。在米3年後にヨーロッパ各国、エジプト、ギリシャ、インド等に遊ぶ。
- 1954 (昭和29)年
帰国。団体に所属せず、個展で作品発表する一方、「今日の新人展」(神奈川県立近代美術館)、「抽象絵画の展開」(国立近代美術館)、読売アンデパンダン展等に出品。
- 1963 (昭和38)年
再渡米。3年間アメリカで制作生活し、サンフランシスコ・アートセンター、ホップス画廊、ニューヨーク・トエニスセンチュリーウエスト画廊、サクラメント・クロッカーアート美術館等で個展を開催。全米絵画ビエンナーレ展招待出品
- 1975 (昭和50)年
紺綬褒章受章
- 1980 (昭和55)年
東京セントラル美術館で「清川泰次の世界」展開催。画集「清川泰次の世界」出版。
- 1983 (昭和58)年
浜松市美術館で「清川泰次展—白と線の世界—」開催。東郷青児美術館大賞受賞
- 1984 (昭和59)年
東京セントラル美術館で「清川泰次自選展—色から白への48年—」開催。「清川泰次画集—わが青春—」出版。
- 1995 (平成7)年
御前崎に「清川泰次芸術館」開館
- 2000 (平成12)年
8月逝去
- 2003 (平成15)年
清川泰次記念ギャラリー(世田谷美術館分館)開館

〈主なパブリックコレクション〉グッゲンハイム美術館、サンフランシスコ近代美術館、東京国立近代美術館、京都国立近代美術館、神奈川県立近代美術館、埼玉県立近代美術館、静岡県立美術館、浜松市美術館、国立国際美術館、原美術館、世田谷美術館

TAIJI KIYOKAWA : BIOGRAPHY

- 1919 May: Born in Hamamatsu City
- 1936 Finishes the fourth year of Hamamatsu Dai-ichi Junior High School. Enters Keio University, majors in economics, and plays active part in photo club. Starts oil paintings while in school and holds various group exhibitions.
- 1944 Graduates from Keio University.
- 1947 Selected by Nika Fine Artists Association. Invited to Rengo Exhibition and group exhibitions. Holds one-man exhibitions.
- 1949 Moves to a newly built studio in Seijo, Setagaya.
- 1951 Nika Spring Exhibition. Receives the Nika sho Grand Prize. Travels to U.S.A.. One-man exhibition and group exhibition at Ken Feininger Gallery, U.S.A. After three years, travels to Europe, Egypt, Greece, India and other countries.
- 1954 Returns to Japan. Holds many one-man exhibitions without belonging to any group association. Invited to "Today's Six New Modern Artist" at The Museum of Modern Art, Kamakura (1955); "Development of Abstract Paintings" at The National Museum of Modern Art, Tokyo (1958); Independent Exhibition by the Yomiuri Shinbun (1959), and so forth.
- 1963 Travels to U.S.A. again. Lives, produces and exhibits art works in U.S.A. for three years. One-man exhibitions at San Francisco Art Center, Hobbs' Gallery, Twentieth Century West Gallery (New York City), Crocker Art Gallery (Sacramento), etc. Invited to Biennial Exhibition of Contemporary American Paintings and Sculptures.
- 1975 Receives Konju Hoshou Medal
- 1980 One-man exhibition titled "World of Taiji Kiyokawa" at Tokyo Central Museum. Publishes "World of Taiji Kiyokawa"
- 1983 Taiji Kiyokawa Exhibition at Hamamatsu Municipal Museum of Art titled "World of White & Lines". Receives the Yasuda Kasai Museum of Art Grand Prize.
- 1984 One-man exhibition of Pure Paintings by Taiji Kiyokawa titled "48 Years from Color to White" at Tokyo Central Museum. Publishes "Taiji Kiyokawa Story—My Paintings and Essays"
- 1995 Builds Taiji Kiyokawa Non Objective Pure Art House in Omaezaki
- 2000 August: Dies
- 2003 Taiji Kiyokawa Memorial Gallery opens as an annex of Setagaya Art Museum

MAIN PUBLIC COLLECTIONS :

Solomon R. Guggenheim Museum, New York; San Francisco Museum of Modern Art; The National Museum of Modern Art, Tokyo; The National Museum of Modern Art, Kyoto; The Museum of Modern Art, Kamakura; Saitama Modern Art Museum; Shizuoka Prefectural Museum of Art; Hamamatsu Municipal Museum of Art; The National Museum of Art, Osaka; Hara Museum of Contemporary Art; Setagaya Art Museum, Tokyo,